

●世界の主な地震

平成 28 年（2016 年）3 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

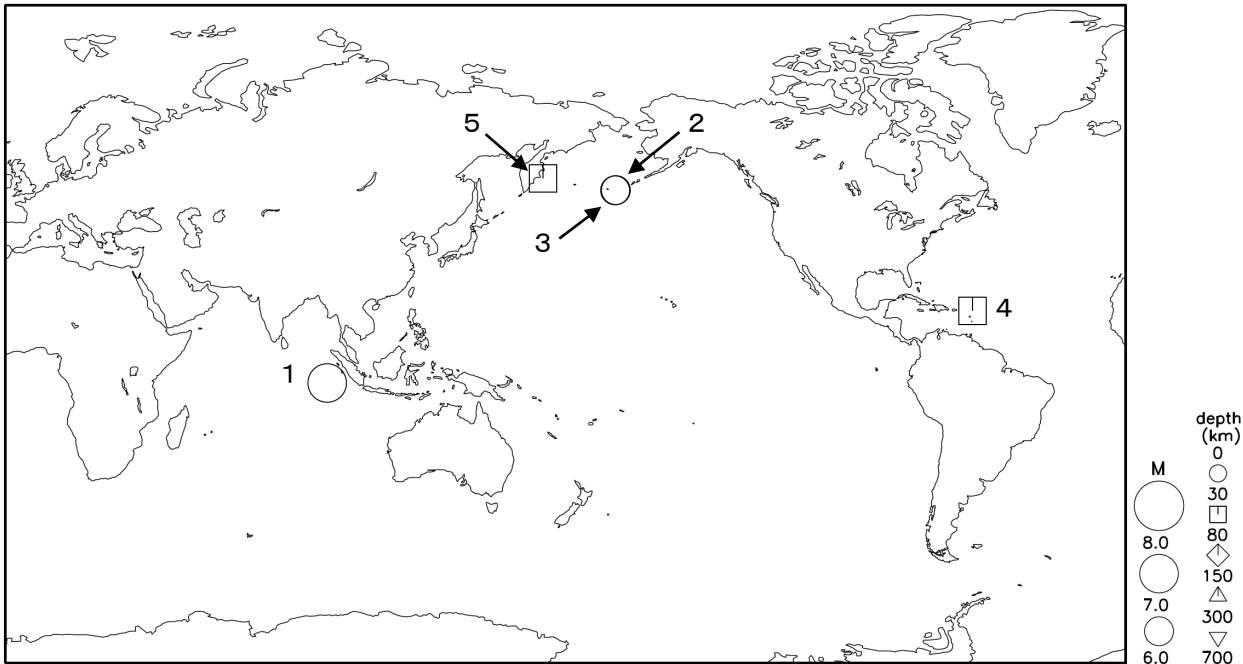


図 1 平成 28 年（2016 年）3 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

* : 震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Earthquake ArchiveSearch & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2016 年 4 月 4 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。
** : 数字は、表 1 の番号に対応する。
*** : マグニチュードは表 1 の mb (実体波マグニチュード)、Mj (気象庁マグニチュード)、Mw (モーメントマグニチュード) のいずれかを用いて表示している。

表 1 平成 28 年（2016 年）3 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	03月02日21時49分	S 4° 57.1′	E 94° 19.8′	24			(7.8)	インドネシア、スマトラ南西方			○
2	03月13日03時06分	N51° 33.6′	W174° 01.6′	19			6.3	アリューシャン列島アンドリアノフ諸島			
3	03月19日10時35分	N51° 30.7′	W174° 14.0′	17			6.0	アリューシャン列島アンドリアノフ諸島			
4	03月19日20時26分	N17° 59.7′	W 60° 41.9′	32			6.0	リワード諸島			
5	03月21日07時50分	N54° 20.0′	E162° 47.9′	31			6.4	ロシア、カムチャツカ半島東岸		○	

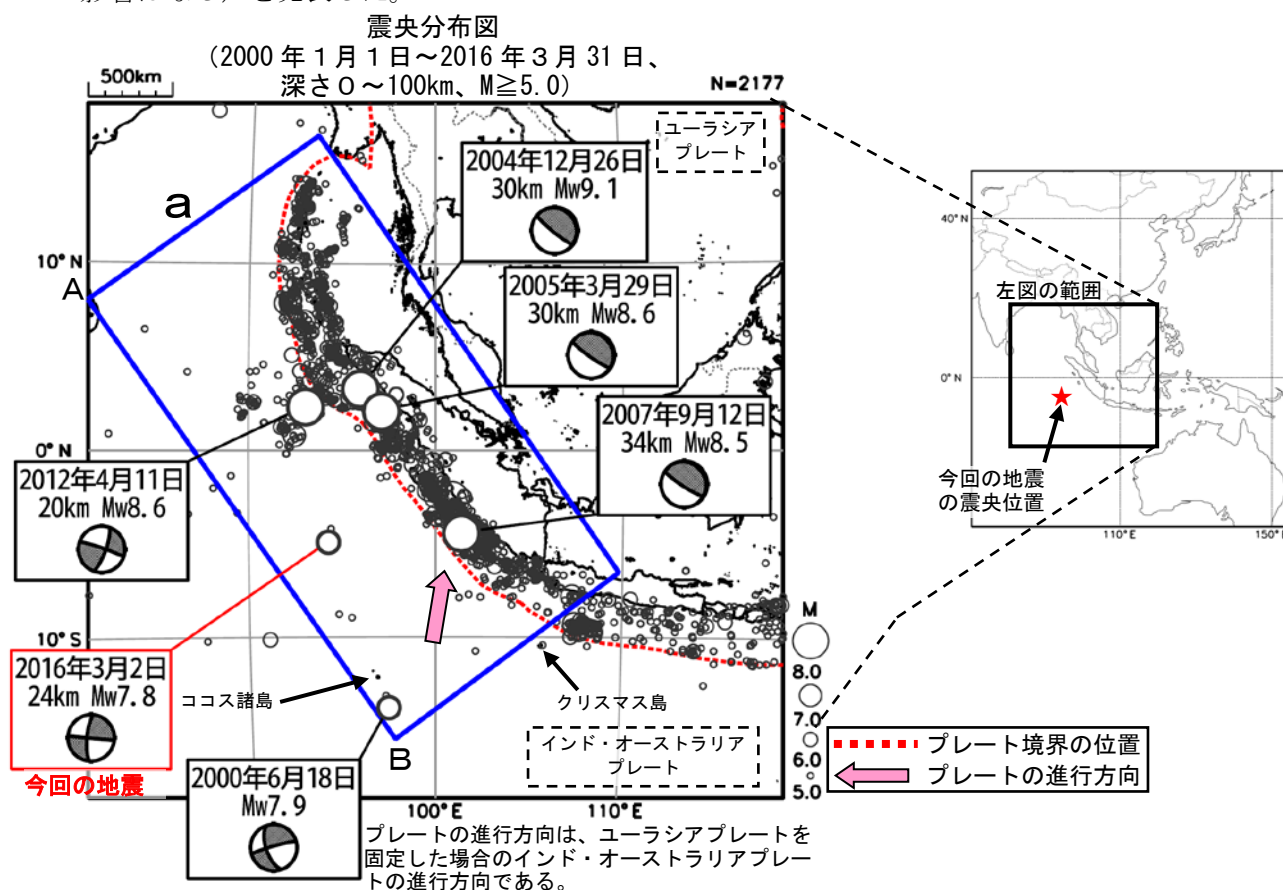
・震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2016 年 4 月 4 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
・地震発生時刻は日本時間 [日本時間＝協定世界時＋9 時間] である。
・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (地震・火山月報 (防災編) 2005 年 5 月号参照) を発表したことを表す。
・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

3月2日 インドネシア、スマトラ南西方の地震

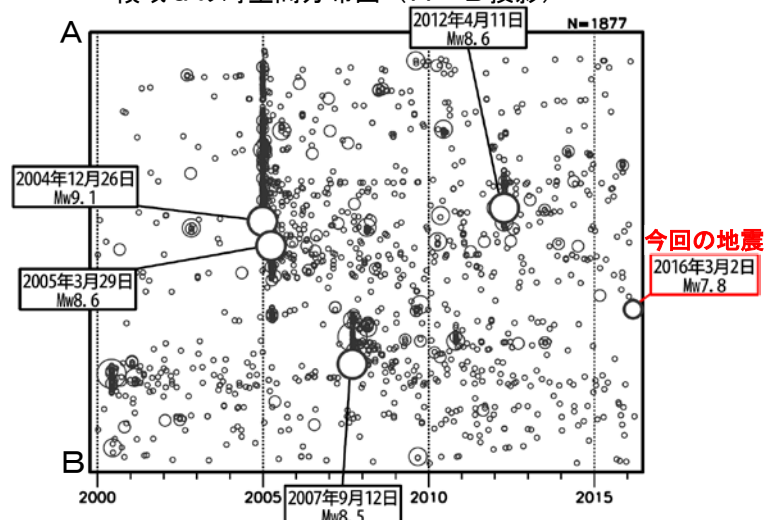
2016 年 3 月 2 日 21 時 49 分（日本時間）に、インドネシア、スマトラ南西方の深さ 24km で Mw7.8 の地震が発生した。この地震は、ユーラシアプレートの下に沈み込む前のインド・オーストラリアプレート内部で発生した。発震機構（気象庁による CMT 解）は、北東－南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震により、オーストラリアのココス諸島、クリスマス島で微弱な津波が観測された。

領域 a では、2004 年 12 月 26 日に発生した Mw9.1 のインドネシア、スマトラ島北部西方沖の地震以降、M7.0 以上の地震や被害が生じた地震が時々発生している。今回の地震は、海溝軸の外側で発生しており、プレート境界で発生した Mw9.1 のインドネシア、スマトラ島北部西方沖の地震の一連の活動とは異なる。

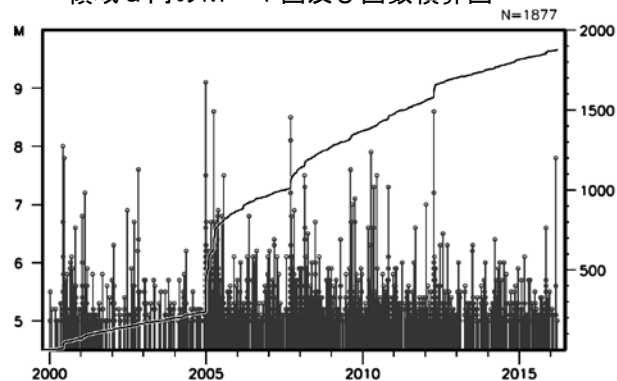
なお、気象庁は、今回の地震について、同日 22 時 21 分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響はなし）を発表した。



領域 a の時空間分布図 (A-B 投影)



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



本資料中、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。2012 年 4 月 11 日の地震 (Mw8. 6) の Mw は気象庁、2004 年 12 月 26 日の地震 (Mw9. 1) の Mw は理科年表、その他の地震の吹き出しの Mw は GlobalCMT プロジェクトによる。震源要素は米国地質調査所 (USGS) による。(2016 年 3 月 28 日現在)。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) *より引用。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252

気象庁作成